

1. 検討項目案

- ①ガイドライン改訂プロセスの確立(ICT装置の評価基準)
- ②追加装置の検討
- ③既存装置の基準値の見直し

2. ガイドライン改訂プロセスの確立(ICT装置部分)

装置の追加、基準値の見直しに関するルールを検討する。

①装置の追加

- ・年度当初に、追加する装置について検討する(各メンバからの提案による)。
- ・評価指標、基準値、“基準値の実現時期の目安”、多段階評価の設定の考え方は、H21年度の方針(別紙)を踏襲する。

②既存装置の基準値の見直し

- ・原則、“基準値の実現時期の目安”までは基準値の見直しは行わない。
ただし、参照する評価指標の見直しなど外部動向によって必要と判断される場合は除く。
- ・基準値見直し時期の判断基準を検討する。

3. 追加装置の検討

ガイドライン(第1版)でTBDとなっている装置について、追加の検討を行う。

①給電装置

- ・UPS:業界唯一のCoCの基準値の採用の検討
- ・整流装置:業界唯一のATISの評価法の採用の検討、基準値の検討
⇒昨年度同様実測を含め検討(関係団体との連携が必要)

②ストレージ装置

- ・アイドル状態の評価:TR基準(新基準)およびSNIA※1の評価法の採用の検討
- ・動作状態での評価:SPC※2が発表したベンチマークの採用の検討(実測値の収集必要)

※1:Storage Networking Industry Association ※2:Storage Performance Council

⇒JEITAとの連携して進める

③LTE基地局装置

- ・ブロードバンド系基地局装置の評価指標(WiMAXに適用)をベースに検討

④その他

- ・高位レイヤスイッチは業界動向に動きなし、優先度は高くないためウォッチングを継続
- ・大型ルータ、小型ルータ(VPN有)、L2スイッチ(シャーシ型)は、継続してTR基準およびATISの動向をみて検討

4. 既存装置の基準値の見直し

基準値の実現時期の目安が2010年度末の下記の2装置について基準値の見直しを検討する。

①小型ルータ(VPN無)

- ・基準値見直し時期の判断基準と併せて検討

②サーバ装置

《アイドル状態での評価基準》

- ・TR基準の新しい目標基準値と目標年度の採用を検討

《動作状態での評価基準》

- ・HP登録情報およびSPECのWebサイトの情報により基準値の見直しを検討

5. 製品情報登録での注意喚起

- ・製品情報の登録は、ベンダの責任において実施することを条件とする。
- ・サーバ装置のSPECpowerの評価結果の登録(公開)においては、ベンダがSPECの承認を受けていることを必須条件とする。

ICT装置の評価基準設定の基本ルール

1. 既存の評価基準

- (1) 電気通信事業者の使い方に最も適した評価基準を採用
- (2) 国内・外の標準化機関や業界団体が策定している評価基準は採用可能
- (3) 1企業が調達基準として公開しているものなどは採用しない
- (4) 省エネ法(TR基準)の評価基準は優先的に検討するが、他の評価基準も含めて総合的に判断(併用も含む)

2. 検討中の評価基準

各機関で検討中の評価基準については、一部に公開されているものがあるが、正式制定前の評価基準は採用しない

3. 既存の評価基準が存在しない機器

協議会メンバからの新しい評価基準提案も採用可能

4. 基準値達成レベルのランク付け

幅広い電気通信事業者が省電力ICT機器を容易に調達可能なように、基準値達成レベルを多段階でランク付け

平成22年度 データセンターに関する検討内容について

昨年度、策定した「ICT分野におけるエコロジーガイドライン(第1版)」において、データセンターのエネルギー効率指標については、ガイドライン策定期間において比較的、普及していると考えられるPUEを取り上げるとともに、今後、データセンターのエネルギー効率指標に関する検討の進捗状況や普及状況にあわせ、適宜、新たな指標も取込んでいくこととされている。

現在、国内ではグリーンIT推進協議会等において新たな効率指標の検討も進められている。また、PUEについても、さらに詳細な条件等の検討も行われている。これらの動きを踏まえ、本年度の協議会におけるデータセンターの検討内容及び検討体制として以下をご提案したい。

- ◆データセンターの評価基準の検討・・・PUEを評価指標として取り上げ、ガイドラインに記載するところまで実施。
本年度は、ガイドラインに則り、データセンターの指標値の自主公表を促進させるとともに、データセンターのエネルギー効率指標に関する最新の知見を取入れて、ガイドラインの改訂に資するため、以下の2つの活動を実施する。

《今後の検討課題》

①“省エネに関するデータ”について、定量的評価指標・基準の改善

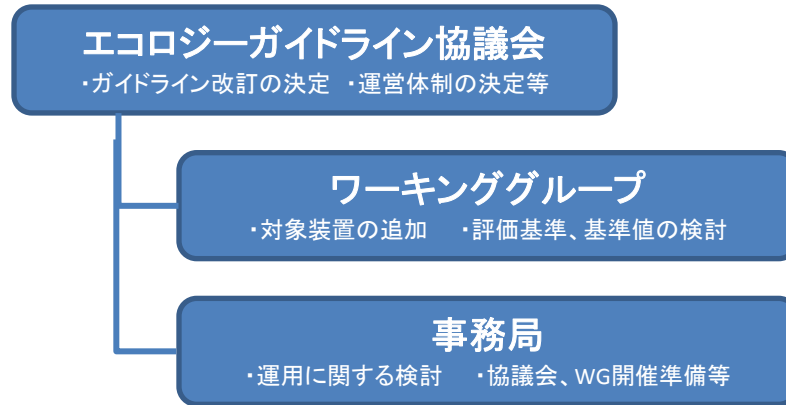
- ・国内外におけるデータセンターのエネルギー効率指標に関する検討状況のフォローアップ(各団体等において進められているPUE等の実測データの収集状況のフォローアップを含む)
- ・PUEに関する詳細条件検討の進捗状況を踏まえた、ガイドライン記載内容に関する見直しの必要性の検討(計測条件の追記、情報公開方法の設定等)
- ・PUE以外のエネルギー効率指標の検討状況や普及状況を踏まえた、ガイドラインにおけるPUE以外のエネルギー効率指標の取り込みの必要性に関する検討

②“省エネに関する取組”を定性的に評価する仕組みの検討

- ・データセンターにおける省エネやCO2排出量削減への取組みの現状把握
- ・データセンターにおける省エネやCO2排出量削減への取組みに関するチェック項目の検討

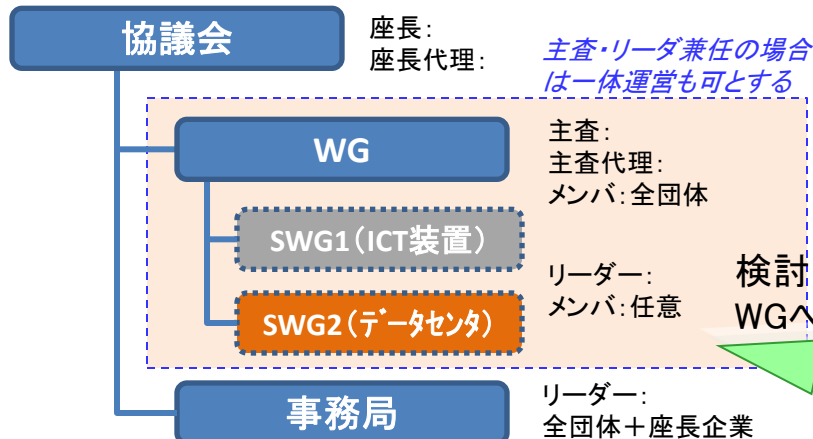
データセンターに関する検討の実施体制案

◆現体制・・・ICT装置の評価基準の検討を重視した体制



◆新体制案・・・データセンターに関する検討結果を効率的に協議会へ反映させる連携体制案

新体制案



主査・リーダー兼任の場合
は一体運営も可とする

主査:
主査代理:
メンバ: 全団体

リーダー:
メンバ: 任意

リーダー:
全団体+座長企業

検討内容を
WGへ適宜フィードバック

ASPICのDC促進協議会へオブザー
バ参加も可能とする連携スキーム

ASPICにおけるデータセンターに関する検討体制

